

令和7年7月定例教育委員会定例会 会議録

1. 開催日時：令和7年7月18日（金）15：00～17：02
2. 場所：古賀市役所 第2庁舎 402会議室
3. 出席委員：長谷川教育長 木村教育長職務代理 小山委員 松下委員 松本委員 狩浦委員
4. 欠席委員：なし
5. 出席職員：教育部長 桐原誠、教育総務課長 吉永ゆかり、学校教育課長兼主幹指導主事 今橋修、学校教育課主任指導主事 中野貴仁、生涯学習推進課長 樋口武史、青少年育成課長 長崎英明、文化課長 甲斐健史、学校給食センター所長 野田高弘、教育総務課庶務係長 波多江由美
6. 傍聴者：なし

7. 会議内容

1. 開会

【木村議長】15時00分、開会を宣言。

2. 教育長あいさつ

開会にあたり長谷川教育長があいさつ

3. 会議録の署名委員の指名について

【教育長】会議録署名委員は会議規則第28条の規定により教育長及び会議で決めた委員1名となっておりますので、木村職務代理を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

4. 会議の非公開について

【木村議長】非公開の議案はありません。

5. 諸報告

(1) 教育長報告

（資料により、7月16日開催の管内教育長会の報告及び説明）

(2) 教育委員情報交流

・不登校について

【教育長】（資料を説明）どこをどう変えれば不登校の児童生徒が減るのか、様々な切り口から意見の交流をお願いします。

【小山委員】通学合宿での子どもたちからゲーム・携帯を扱う環境と家庭環境が影響しているように感じる。家庭での取り扱いのルールづくりが必要ではないか。

【狩浦委員】今も昔も集団や学校になじめなかった児童生徒は一定数いたが、世の中の風潮として、学校は必ずしも行かなくてもよいという考え方や学ぶ場は学校だけではないという考え方が浸透したため、学校としても学校に行くのが正義とは言いきれなくなったことや兄弟児の影響などもある。学校に通うことを最終的なゴールとするのではなく、長い目で見て将来その子が経済的にも生活面でも自立することを見据えてサポートしていくしかないと感じている。学校・行政にできることは、学級担任がクラス経営と個別の寄り添いを両立できるようステップルームへの人的配置、子どもたちの将来を見据えた居場所の在り方や運営の仕方についても考えていく必要があるのではないかと思います。

【松下委員】スマホを媒体とするインターネット環境が影響していると感じている。不登校を減らしていくことは今の社会では厳しいと感じている。我が子が不登校になったら親としてどう関わるか考え、子ども自身が自問自答や想像をめぐらすための何もしない時間を設けさせようと思いました。また政治の責任も感じていて、国会議員には、我が子・我が孫と思ってもっと真剣に向き合ってほしいとも思います。

【松本委員】子どもを取り巻く社会的変質と学校内部の大きく2つの要因があると考えている。今の子どもたちに学校教育が合わなくなって、制度疲労を起こしているように感じていて、コロナ禍を経て働き方改革に取り組む今、この当たり前にやっていたことを変える絶好のチャンスじゃないかと。子どもたちの主体性を育てる方向に教育改革で変わっていけば、学校で学びながら自分で選択できる、決定できる充実感や喜びを味わせるのがきっかけになるのではないかと。また自己肯定感とか有用感を育てることで、学力の格差に関わらず一人一人が主人公になることで学校に行く意義を感じるようになるのではないかと。不登校のカウントは引き算式のローカルカウントがあってもいいのでは。また、不登校がマイナスイメージなので、名称とイメージを変えていくのはどうかと思います。

【木村議長】学校に適應できる・できないが問題ではなく、これから生きていくために、当たり前のことは当たり前のようになり越えていく力をつけること。大人になって引きこもるのではなく、社会的に自立できることを目指して支援していく必要がある。不登校の子どもたちと接して感じたのは、子どもも保護者も学校に行きたくないけど、行く必要がないとは思っておらず、できることなら行きたいと思っていて、一番辛いのは子どもだけれど、保護者も悩んで辛い思いをしていること。不登校を示しだした初期の対応がすごく大事で、学校の中に信頼関係を構築してつながれる人が一人でも居てほしいと思います。

【教育長】千鳥児童センターに通う生徒からもらった手紙に触れ、太鼓に出会って児童センターに加えて自分が示せる場所を見つけることができたことから、学校の先生や教育委員会の職員とは別に児童センターの職員や学生ボランティアなどの人間関係が大事であること。国の不登校の示し方は足し算式で、松本委員ご提案の引き算式は一つのしめし方として参考にさせていただきます。今の委員のご意見を校長会で示して、学校も行政もさらに変えられるところから生かして、一人でも子どもの居場所、行き場所を作って、それが基本学校にあるような流れになるといいと思います。いろいろなご意見をありがとうございました。

(3) 教育委員会報告

なし

6. 議案

【木村議長】 今から審議に入りますが、議案の朗読は省いていただき、提案される議案の要点だけを説明していただきたいと思います。順に議案の審議を行いますので、説明をお願い

いします。

第38号議案 古賀市立小中学校通話録音装置の設置及び運用に関する要綱の制定について
(学校教育課長・議案説明)

【木村議長】ご質問等ありますか。

【小山委員】各校に何台設置し、最初からすべての会話を録音するのですか。ホームページ以外に周知の方法はありますか。

【学校教育課長】学校に5台ずつ設置、最初にアナウンスが流れて、すべての会話が録音されます。周知は学校安心メールと市公式LINEでも行います。

【松下委員】設置の理由と市役所での導入状況について教えてください。要綱の設置目的は犯罪防止や教員の働き方改革の一環としてなどもう少し踏み込んで明記したらどうか。データ消去は容量がいっぱいになっての自動上書き消去か、日時による上書き消去かどちらですか。

【学校教育課】クレームや主訴等が不明のもの電話対応で、録音されていることで少し冷静な話ができるよう学校の要望によるもので、市役所では収納管理課等に設置しています。目的は他市町村には犯罪の防止や教職員の不当な圧力を排除するためなど明記にしているところもありますが、協議の上汎用的にとどめて置いた方がよいという判断をしました。録音データはSDカードに保存され、古いものから順に上書きされていきますが、3ヶ月程度は残ります。

【木村議長】第38号議案は原案可決としてよろしいですか。(はい)

第38号議案は原案可決します。

第39号議案 古賀市船原古墳調査指導委員会委員の委嘱について(文化課長・議案説明)

【木村議長】ご質問等ありますか。(特になし) 第39号議案は同意としてよろしいですか。(はい)

第39号議案は同意します。

7. 協議事項

- ・古賀市教育委員会の点検及び評価報告書について
(教育総務課長が資料により説明)
- ・児童生徒を性暴力から守る服務規律の確保の徹底に関する行動指針(案)について
(教育総務課長が資料により説明)

8. その他事項

(1) 各課報告

教育部長 なし

教育総務課

- ・学校施設等整備の主たる工事等について (教育総務課長が資料により報告)

学校教育課

- ・フリースクール等利用児童生徒支援補助金の申請状況について
- ・外国人学校児童生徒就学補助金の申請状況について
- ・通学者定期券購入補助金の申請状況について（学校教育課長が口頭により報告）

生涯学習推進課

- ・市民駅伝について（生涯学習推進課長が口頭により報告）

文化課

- ・企画展 戦争とくらし（文化課長が資料により報告）

青少年育成課

- ・青柳校区通学合宿について
- ・寺子屋の実施予定について
- ・小学4～6年生を対象とした議場体験会について
- ・みらい塾について（青少年育成課長が口頭で報告）

学校給食センター

- ・給食食器変更について（学校給食センター所長が資料により報告）

(2) その他

教育総務課長（行事予定の説明）

庶務係長（定例会のスケジュール）

9. 閉会

議長が閉会を宣言し、17時02分閉会した。

会議の経過を記載してその相違ないことを証するためここに署名する。

令和 7 年 8 月 26 日

教育長 長谷川 清子

署名委員 木村 真由美